

のぼこども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のぼこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：高橋 智一

平成29年10月 第13号

のぼこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

大型台風が日本列島を縦断し大変な被害が発生しました。被害に遭われた方には謹んでお見舞い申し上げます。最近、大雨など50年に一度と言われるような、普段と明らかに違う気象の変化をテレビや新聞で見聞きする事が増えました。一説には温暖化の影響などと言われています。

私たちの暮らしの中でも、知らず知らずのうちに小さな変化が溜り、大きな歪になっていくことが多いと思います。子ども達も、小さな変化が積み重なり大きな事態を招いてしまう。ということがあるように思います。夏休みも終わり1か月が過ぎますが、子ども達の小さな変化について、日ごろ接する者として見落とさず、言葉にならない言葉をも受け止めていきたいと改めて感じます。

小さな変化に戸惑いや不安を感じ対応に悩まれる時には、身近な相談機関にまずはご相談ください。

のぼこども家庭支援センターも皆さんに身近な相談機関として、その役割を果たせるよう取り組んでまいります。
のぼこども家庭支援センター長

のぼこども地域交流事業報告

☆親子ふれあい遊び「ふうりんを作ろう」

7月15日に親子16名が参加して開催しました。親子でペットボトルと短冊に一生懸命、絵を描いたりシールを貼って、最後にビーズの飾りと金属棒とコインを付けてオリジナルのふうりんを完成させました。

ふうりん作りの後は、ボランティアさんによる、紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、パネルシアターなどで楽しい時間を過ごしました。

☆講演会「はじめての離乳食とアレルギー」

9月19日に横浜市子ども青年局より講師を招き開催しました。参加された方々は、乳幼児に対する皮膚の保湿によるアレルギー予防、離乳食の作り方と離乳食トレーニングについての実践を交えた講演に熱心に耳を傾けるとともに、積極的に講師に質問をされていました。

今回の講演会であらためてアレルギーに対する関心の高さを知ることが出来ました。

想 感 考 望

今年の夏は20日連続の雨が続き、あまり夏らしいことが出来なかったような気がします。この間まで蝉の鳴き声が聞こえていたのに、もうスズムシやコオロギ、クサヒバリなど秋の虫たちの音色に変わっていると驚いています。都心では虫の音を聞くことがあまりないと聞きますが、野庭はいつでもどこでも自然がいっぱい!!虫たちも鳴きまくっています。今の時代もしかしたらとても贅沢なことなのかもしれません。今年は音から感じる秋を楽しめたらいいなと思います 😊😊😊

のぼこども日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*^_^*)

賑やかな夏休みが終わり、チョット静かな毎日が始まりました。センターに通い慣れ、夏休みになる頃には昼食のお手伝いをしてくれる子も増えました。お手伝いの中でも好んでやってくれるのが“お味噌汁”当センターではインスタントでの味噌汁提供ですが、袋に残った味噌をペロッと舐めることがみんな大好き。味噌が好きな子が多いんだなと初めて実感。先日個人的に長野に行き信州味噌を食べました。その時「あれっ。味が違う」と味噌の味の違いを感じセンターに来ている味噌好きな子どもたちに色々な味噌の味の違いを体験させてあげたいなと思いました。

心あたたまる絵本の紹介



とてもすてきなわたしの学校
作/ドクター・スースとJ・プレラツキー
絵/レイン・スミスとドクター・スース
童話館出版 1999年9月

なんでもスクールには独特な先生がたくさんいます。机の上での勉強はありませんが、個性豊かな先生からたくさんのお話を楽しく学べます。ある日、生徒達の学力を調べる試験を受けなければいけないことになりました。なんでもスクールの生徒の成績が悪かった場合、学校は潰れ、行かなければいけない場所はみんな同じことをしている従順スクール…。さて、なんでもスクールのみなさんの試験の結果は…?

お話もイラストも個性的な絵本ですが、自分の考えを持っていて個性があることは素敵なことだなどと思わせてくれる一冊です。

のぼこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで(祝日、年末年始除く)
受付時間：9時～17時

